

## 週報

# 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成28年												平成29年																	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 ~3日	9月 ~10日	9月 ~17日	9月 ~24日	10月 ~1日	10月 ~8日	10月 ~15日	10月 ~22日	10月 ~29日	11月 ~5日
カンピロバクター	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	66	84	61	68	80	122	83	118	142	87	22	18	33	25	44	48	25	16	28	17
病原性大腸菌	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	180	147	107	105	89	113	64	135	206	161	26	22	42	12	18	31	25	14	20 (24)	17
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
サルモネラ	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	1	7	11	10	13	18	29	4	4	0	1	3	2	3	2	1 (2)	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	8	15	6	11	12	15	9	21	32	17	3	2	14	5	6	6	2	7	3	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	14	20	16	19	13	17	15	23	27	16	4	5	7	6	4	1	5	6	3	2
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
その他	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	2	1	3	0	5	9	11	1	2	1	1	2	5	1	1	3 (5)	1
ロタウイルス	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
ノロウイルス	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	21	7	4	8	6	11	13	8	2	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0

- \* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
- \* 前回のその他の2件増は、それぞれ、アエロモナス、プレジオモナスでした。
- \* その他の1件は、エルシニアでした。

## 広島県感染症発生動向週報

平成29年第44週(10月30日~11月5日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	11	結核	11	1	2			5		3
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1		
四類	3	つつが虫病	1	1						
		日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	1						1	
五類全数	4	侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	3					1	1	1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第44週 10/30～11/5)

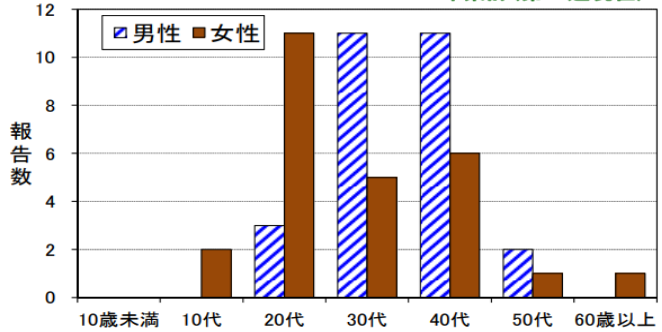
広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 梅毒

1件の報告があり、今年の累計は53件(男性27件、女性26件)となりました。年齢階層別報告数は、20～40代が全体の88.7%を占めており、男性では30代と40代、女性では20代が多くなっています。(2016年の年間報告数は27件)

梅毒は梅毒トレポネーマの感染によって起こる性感染症です。感染が疑われる症状が見られた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。また、梅毒に感染していたとわかった場合は、周囲で感染の可能性のある方(パートナー等)も検査を行い、必要に応じて一緒に治療することが重要です。

梅毒の男女別・年齢階層別報告数(広島市) 2017年累計(第44週現在)



2. 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり、今年の累計は17件となりました。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	2	0.05	0.19			小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.70		
小児科	咽頭結膜熱	15	0.63	0.28			眼科	RSウイルス感染症	16	0.67	0.81		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	1.88	1.94				急性出血性結膜炎	-	-	0.03		
	感染性胃腸炎	85	3.54	6.41			基幹	流行性角結膜炎	3	0.38	0.70		
	水痘	13	0.54	0.75				細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	42	1.75	0.72				無菌性髄膜炎	-	-	0.06		
	伝染性紅斑	1	0.04	0.12				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.40		
	突発性発しん	6	0.25	0.41				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	百日咳	-	-	0.07				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	8	0.33	0.14									

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減)

微増減 ↘ (前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減)

横ばい ⇄ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	119	女性(10歳未満)・1人、男性(50歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・2人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	17	男性(10歳未満)・026
5	侵袭性肺炎球菌感染症	1	5	女性(70歳代)
5	梅毒	1	53	女性(20歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(37.0) 嘔吐 下痢 痙攣	1	男	2017/09/28	糞便	ノロウイルスG2
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 気管支炎	1	男	2017/09/15	鼻汁	パラインフルエンザウイルス1型
その他の呼吸器疾患	上気道炎	0	男	2017/09/18	鼻汁	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(40.3) 気管支炎	1	男	2017/09/19	鼻汁	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 咽頭炎 気管支炎	1	男	2017/09/22	鼻汁	パラインフルエンザウイルス1型
その他の呼吸器疾患	気管支炎	3	女	2017/09/23	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(37.4) 気管支炎	3	男	2017/09/25	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	気管支炎 肺炎	6	男	2017/09/25	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	気管支炎	2	女	2017/09/30	鼻汁	ライノウイルス
その他の消化器疾患	発熱(38.1) 下痢	0	男	2017/09/27	糞便	エコーウイルス25型 アデノウイルス31型
その他の消化器疾患	発熱(38.0) 嘔吐 下痢 腹痛 腸重積	0	男	2017/10/01	糞便	パレコウイルス4型
その他の眼疾患	結膜充血	79	女	2017/10/03	結膜擦過物	単純ヘルペスウイルス1型
その他の疾患	発熱(39.1)	0	男	2017/09/26	咽頭拭い液 糞便 尿	エコーウイルス7型
その他の疾患	発熱(38.4)	0	女	2017/09/27	咽頭拭い液 糞便	エコーウイルス7型
その他の疾患	発熱(38.0)	0	女	2017/09/30	咽頭拭い液 糞便 尿	エコーウイルス7型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載